

ビクトリア・ハーバーで繰り広げられるアツいイベント 香港ドラゴンボート・カーニバル開催！

香港政府観光局

今年も6月22日から24日まで、第9回を迎える「香港ドラゴンボート・カーニバル」が香港島のセントラル・ハーバーフロント・イベントスペースで行われ、国際ドラゴンボート・レースや、周辺でのエンターテイメントを楽しむイベントが行われます。

香港は、現在の形であるドラゴンボート競争の発祥地として知られています。さかのぼること今から42年前の1976年に、筲箕灣 (Shaueiwan) で9人の漁民で構成されたドラゴンボートが、日本の長崎から来たドラゴンボートチームと対戦したのが、最初の国際レースだと言われています。それ以来、ドラゴンボート・レースは世界各国で人気のパドル・スポーツとして親しまれています。

その後、スポーツとしてのドラゴンボート・レースが瞬く間に広まり、1991年6月24日には、International Dragon Boat Federation (国際龍舟聯合會) が香港を拠点に設立され、当時の香港観光協会 (現：香港政府観光局) がその事務局的な役割を担いました。

近年、香港国際ドラゴンボート・レースは、年間のスポーツイベントの中でも重要な位置づけとなっています。今年も、国際ドラゴンボート・レースには、香港から約160その他15の地域や国から5,000人近くの選手が参加して行われる予定です。

会場となる香港島のハーバーフロン

ト・イベントスペースは、ビクトリア・ハーバー沿いの中環から湾仔にかけてのウォーター・フロントの広場で、アートや音楽のイベントから、ワイン&ダイニング・フェスティバルまで、年間様々なイベントが開催されています。本イベントは、2016年にアベニュー・オブ・スターズの改築工事に伴い、九龍側からこの場所にイベント会場を移したことにより、今までよりも規模を拡大して行われています。レース観戦の他、すでに日本の真夏の様な気候の香港にはうってつけの、ビールや音楽が楽しめるビアフェスも同会場で開かれます。

今年は、伝統的な文化でありながら、刺激的なスポーツである国際ドラゴンボート・レースを観戦してみませんか？



国際ドラゴンボート・レース (写真提供 香港政府観光局)

2018年5月発行 (禁無断転載)

目次

ビクトリア・ハーバーで繰り広げられるアツいイベント 香港ドラゴンボート・カーニバル開催！……………1

華人経営研究 (CMMS) の再開について……………2

「香港杯 全日本大学 学生大使 英語プログラム」開催……………3

生まれ変わった工業ビルー Camlux Hotel……………4

春節レセプション 成年を祝う ～11月 大規模シンポジウム開催へ～……………5

日本香港協会全国連合会 会長就任のご挨拶……………6

連合会・各協会便り

東 京：日本香港協会 (東京) 第17回総会開催
第25回横濱ドラゴンボートレース2018とNPO法人日本
香港協会ドラゴンボートチーム飛龍結成のお知らせ……………7

関 西：2018年総会とチャイニーズ・ニュー・イヤヤー・パーティー
香港春節セミナー2018……………8

中 京：新年恒例行事及び会員親睦会歴史探訪 (Ⅱ)……………9

九 州：香港と福岡 ～これからの可能性～……………10

山 形：平成30年度理事会・総会の開催……………11

北海道：「香港ビジネスセミナー」、「香港のつどい2018」を開催……………12

宮 城：2018春節セミナー&パーティーを開催
広東語教室で恒例の春節パーティーを開催……………13

沖 縄：春節・香港ビジネスセミナー2018 IN 沖縄 開催
香港経済視察……………14

広 島：香港・台湾等インバウンド・ビジネスセミナー開催
香港フォーラム・春節の会……………15

新 潟：2018年春節セミナー&パーティーを開催……………16

高 知：アウトスタンディング・メンバーシップ・アワード受賞
春節イベント開催……………17

華人経営研究 (CMMS) の再開について

日本香港協会 副理事長 (CMMS準備室長) 藤澤 慶彦

昨年11月にNPO法人日本香港協会(東京)の理事会で、「華人経営研究」(Chinese Management & Marketing School-CMMS)を3年ぶりに再開することを決定して以来、関係者のご協力を得ながら準備してきましたが、お蔭さまでこの度4月5日に開講式を迎えました。期間は9月末までの6ヶ月間(週1回、夜間)です。

CMMSは去る2003年に関西で開講して以来毎年開催していましたが、2015年(第12期)を以て一旦中断しました。今回新たな枠組みで再開することになりました。その特徴は次の通りです。

目的：社会教育の推進を図り、同時に学術文化の振興を図る

主催：NPO法人日本香港協会(東京)、二松學舎大学
場所：二松學舎大学(東京都千代田区九段南)

二松學舎大学は学祖が明治時代の三島中洲で、漢学者であり法曹界の重鎮であったことから、中国とゆかりの深い大学です。

講師陣：前回までと同様に“理論編”と“実践編”に分けてそれぞれ10講座合計20講座の構成になっています。加えて最後に“特別講義”として香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部のご協力を得て、3人の講師を派遣願うことになっています。当代一流の講師陣が揃いました。

◆理論編

4つのパラダイムから分析する手法は変わっていません。“国情”“儒教”“中国兵法”と“華人ネットワーク”です。

国情…田中仁氏(大阪大学大学院教授)園田茂人氏(東京大学大学院教授)に加えて新しく高橋伸夫氏(慶應義塾大学教授)に中国の政治制度に関する新しい知見を講義して貰います。

儒教…ご存じの河田悌一氏(元関西大学々長)に加えて、牧角悦子氏(二松學舎大学教授)に特にお願いして論語を分かり易く解説いただきます。さらに小島毅氏(東京大学大学院教授)からは故溝口雄三教授の「天命思想」と「公私の概念」を含めて講義して貰います。

中国兵法…今回は湯浅邦弘氏(大阪大学大学院教授)に2回講義いただきます。ひとつは「孫子と兵法三十六計」で、もうひとつは「韓非子」です。

華人ネットワーク…中国に招聘され教鞭をとっている濱下武志氏(中山アジア太平洋学院学院長)に東南アジア華僑のネットワークを、杉田俊明氏(甲南大学教授)には欧米にも根付く華僑経済圏の拡大について現地レポートを含めて説明いただきます。

◆実践編

こちらは教授陣が半分以上新しくなりました。

中国経済…関志雄氏(野村市場研究所シニアフェロー)の中国経済の現状と課題を、松田庄平氏(元HSBC、法

政大学経営大学院教授)には現在話題になっている一帯一路をそれぞれ解析して貰います。

中国市場形成…青木俊一郎氏(元松下電器、日中経済貿易センター相談役)には鄧小平/松下幸之助会談に立ち合った後に、テレビ事業を立ち上げた経験談をお話しいただきます。首藤和彦氏(東レ常務取締役、在中国東レ代表)には中国での事業形成の歴史と現状の報告をして貰います。

中国市場攻略…田淵義和氏(A-1ベーカーリー香港社長)からは香港・中国・タイを点と線で繋いでいる現状を、萬歳教公氏(セブン・イレブン顧問)からは現地での経験を踏まえて、対華人交渉の要諦は憲法をよく勉強して礼節のある交渉をすることであると、それぞれ講義いただきます。

中国企業の台頭…沈才彬氏(中国ビジネス研究所代表)にはアマゾンを追うアリババ、フェイスブックを追うテンセントなど中国の9大新企業に対抗できる日本企業は存在しないこと、後藤康浩氏(元日本経済新聞論説・編集委員、亜細亜大学教授)には中国経済はモノ造りからIT製造業、Eコマースなどに転換していることを、それぞれ解析いただきます。

香港コネクション…中井邦尚氏(JETRO香港事務所次長)から中国本土のみならず東南アジアへのビジネス拠点として香港の重要性を、張樹榮氏(日本香港協会理事)には日本ではあまり知られていない香港を起点とするコンテナ物流について、それぞれお話し願います。

◆特別講義

最終回は、香港特別行政区政府駐東京経済貿易部、香港貿易発展局さらにインベスト香港から第一線で活躍中の3講師に香港の経済・貿易の特徴をご説明願います。Winnie KANG氏(駐東京香港経済貿易代表部代表)、橋場清子氏(駐東京香港経済貿易代表部インベスト香港投資推進局次長)と伊東正裕氏(香港貿易発展局東京事務所長)です。

本講を通して社会教育の推進と学術文化の交流が深まるとともに、中国・東南アジア・香港との貿易発展に寄与できることを祈念しています。



CMMS開講式

「香港杯 全日本大学 学生大使 英語プログラム」開催

日本香港協会 副理事長 広報委員長 藤澤 慶彦

去る1月21日（日）上記プログラム2017-2018が開催された。

主催：香港特別行政区政府駐東京経済代表部

共催：ジャパン・ニュース

後援：外務省、文部科学省、読売新聞東京本社

協賛：キャセイパシフィック航空、香港貿易発展局、香港政府観光局、香港中文大学、大昌貿易行に加えて、今年からわが日本香港協会が協賛に参加した。

100人以上の応募者の中から予選を通過した15人の大学生によって「学生大使」4人を選抜する大会である。形式は4つのテーマである①ビジネス②マスコット③留学④観光の中から本人が選んで6分間のスピーチと3分間の質疑応答形式で行われた。審査委員は香港特別行政区駐東京経済代表部首席代表の翁佩雯（Shirley YUNG）氏、読売新聞英字新聞編集局部長、一橋大学教授（アメリカ人）など4人であった。

今年の特徴は昨年が続いてデジタル画像による説明が一層進んだこと、男性スピーカーはわずか3人で、この世界の女子優位が続いていることであった。各スピーカーの英語のレベルは帰国子女が多いこともあって、相当高いもので、今年は質疑応答での成績が順位に影響したと思われる。優勝したのは武庫川女子大の本田諭美氏、テーマは“観光”で、香港観光は有名なスポットにばかり行くのではなく、近場の住宅街こそ香港人の生活・文化があり、香港政府観光局もこれを促進すれば街起こしになるという一石二鳥の提案型であった。タイトルも“Satomi's Neighboring Show”と聴衆を惹き付けるものであった。準優勝は慶應義塾大学の村上正臣氏でテーマはビジネスを選び、狭い香港の土地の活用策とし

てサッカーではなく、フットサルを奨励すれば世界中から若い観光客が来て、それが香港経済に寄与することを訴えた。今年のもうひとつの特徴は予選通過15人の中に武庫川女子大生が優勝者の本田さんを含めて3人も入っていたことであった。指導の先生が会場に応援していた。日本の大学も英語のスピーチの必要性や重要性を認識し始めた兆しかも知れない。今後他の大学も追随する可能性すらある。

上位入賞者に共通していることは、限られた時間のなかで、簡潔に趣旨と目的を説明していること、現実に行可能な提案をしていることであった。学生であるため実行となるとなかなか具体案が出てこない傾向があるが、この辺が質疑応答のなかでスピーカー間の優劣がはっきり出ていたと思われる。願わくば質疑応答におけるスピーカーの回答の中にユーモアが混じっているものがあれば、会場がさらに盛り上がったと思われる。

表彰式の前には前年の優勝者である小西優香さんから、学生大使として香港に招かれて、日本香港の青年同士の絆促進に寄与した活動報告があった。

表彰式では上位4人にそれぞれカップと表彰状が手渡された。当会の原田理事長からも4人に対して図書券が手渡された。彼らは今年も学生大使として2週間にわたり香港への研修旅行に招待されることになっている。この中には香港経済貿易代表部のイベントや中文大学訪問などが含まれる。

かかる活動の積み重ねが日本香港の双方の経済発展のみならず、社会・文化交流に役立ち、ひいては香港を通じた日中関係の深化に繋がることを祈念したい。



生まれ変わった工業ビル — Camlux Hotel

小野寺 光子

工業ビルが立ち並ぶ九龍湾。昨年ここに、九龍湾では初となるホテルがオープンした。その名は「Camlux Hotel (君立酒店)」。外観は程よくスタイリッシュでシンプル。客室内は香港には珍しくゆったりとしていて、ベッドも大きい。実はこの建物も以前は工業ビルだったのである。スクラップ&ビルドならしよっちゅうあるのでは？いえいえ、こちらはなんと工業ビルをそのままリノベーションしてホテルにしてしまったのである。元のビルは「新駱駝大厦」という。そう、香港製魔法瓶として有名な「駱駝牌 (キャメル)」の製造工場だ。当時の、錆が出たクリーム色の建物、トップに輝くキャメルのロゴマーク、ほっそりした「唯一冷熱水壺廠」の文字の繊細さが私の脳内から離れない。今年の1月に開いた個展では、想いが溢れて工場だった時の新駱駝大厦と、現在のCamlux Hotelの絵を描いてしまった。

「キャメル」に興味を持ったのは、数年前に上環の日用雑貨店でデッドストックの魔法瓶を手に入れたことがきっかけだった。何版も色を重ね丁寧に彩色された花や鳥の柄の美しさ。中瓶はガラス製。香港の友人が「ああ、キャメル！ここのものならいい品質だよ。香港製造なんだ」と誇らしげに語ったのが印象的だった。海外のホテルに魔法瓶やステンレス製什器を納入してきたとも聞く。ただ、新駱駝大厦そのものは既に工場としての働きを終えて、製造設備は黄埔の工業ビル内に移転しているようだった。……ではあの建物はどうなるのだろうか？

「ええっ？あのキャメルの工場がホテルに!？」キャメルのそんな計画を知って仰天したのは昨年3月、香港滞在中のこと。たまたま知り合った香港人デザイナーがキャメルの仕事をしていると聞き、新駱駝大厦の現在について教えてほしいとメールを送ってみた。彼からの返信はこうだった。「新駱駝大厦のビルはすでにリノベーション工事をしていて、もうすぐホテルになります。だから立ち入りはできません。ホテルは工場だった頃の面影を数多く残し、その歴史を伝えるものになるはず。壁のアートからカーペットまでの全てが、駱駝牌にまつわるデザインになります。僕は館内に飾るイラストレーションから、動画作成まで手がけています」。それはまだメディアに未公開のニュースのようだったから、急いで黄埔の工場を訪ね、確認してみた。「その通り、もうすぐホテルになりますよ」二度聞いても吃驚である。その後、キャメルの広報リタさんとも連絡を取り合うようになり、ホテルがオープンしてからさらに詳しい話を聞くこともできた。

その後、キャメルの広報リタさんとも連絡を取り合うようになり、ホテルがオープンしてからさらに詳しい話を聞くこともできた。

キャメルの魔法瓶



たとえば、以前はガラス製の中瓶まで100%香港で製造してきた。職人の高齢化で新たな募集をかけたものの、誰一人応募してこなかったため、高温で過酷な手吹きガラス部分の製造は諦めざるを得なかった（職人ではないリタさんも暑さで当時かなり痩せたとか）。中瓶以外は今も昔ながらの方法で作られていて、工場とはいうものの手作りの製品、人気が出ていもいきなり大量に生産することはできないのだそう。新製品の色を決めるのも、社長以下、広報も社員も一つのテーブルを囲んで皆で話し合う、家族的な経営をしている。現在の若社長は三代目で、この仕事を継ぐまでは建築デザイナーだった。父親である二代目社長は、長年ホテルに製品を納品してきてホテル業に夢を持っていた。工場からホテルへの変身は新築するよりも大変だったとはいえ、新駱駝大厦が持ちビルだったことが幸いし、父の夢を叶えたともいえるのではないだろうか。この場所にしっかりとキャメルの記憶を残しながら、ホテル業に重心を置くことで、できる限りキャメルの魔法瓶も作り続けていくそう。

もし、このホテルに宿泊する機会があれば、九龍巴士の車庫側の部屋をお勧めしたい。目の前の窓いっぱいに広がる車庫ビュー。深夜なかなか寝付けない方、早朝目が覚めてしまう方にはうってつけ。深夜には香港を走り回っていたバスが一齐に戻ってくるし、早朝は一台、また一台と始発のバスが出て行く。「はたらくバス」の絵本を眺めているような、新鮮な驚きがあって愉しめる。

(イラスト：小野寺光子)

小野寺光子/イラストレーター。横浜市出身。旅先で見た街並みや暮らしをユーモラスで繊細なタッチで描く。『香港トラムでぶらり女子旅』(ダイヤモンド・ビッグ社)他香港をはじめとする旅関連の挿画や著作の出版物多数。



春節レセプション 戌(いぬ)年を祝う ～11月 大規模シンポジウム開催へ～

香港貿易發展局東京事務所 コーポレート・コミュニケーション&マーケティング・マネージャー 米岡 哲志

香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部ならびに香港貿易發展局は3月28日、中国の春節(旧正月)を祝う恒例のレセプションを開催いたしました。会場のホテルオークラ東京B2「アスコットホール」には、日ごろから香港・日本間のビジネスや文化交流などでお世話になっております各界の皆さま約500人にお集まりいただきました。今年は香港の男性4人アカベラ・ボーカルグループ「一舖清唱(Yat Po Singers)」による軽快な広東語パフォーマンスの他、恒例のライオンダンス(舞獅)やラッキードローなども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

2017年は香港から日本への製品輸出額が前年比10%増の164億7,100万米ドルとなり、日本が国・地域別で4位の輸出相手国となりました。一方、香港の日本からの製品輸入額は同8%増の243億9,000万米ドルとなり、日本が国・地域別で5位の輸入相手国となりました。閉幕のあいさつに立った香港貿易發展局の朱耀昌(サイラス・チュー)日本首席代表は2017年を振り返り、両地域間の貿易が活発化していることに触れた上で、香港で開催した7月の書籍見本市『香港ブックフェア』や8月の食品総合見本市『フード・エキスポ』に日本から過去最多の出展があったこと、12月の「香港フォーラム」に国別で最多となる400人近いメンバーが日本から参加したことなどを指摘。香港と日本の多岐にわたる交流が加速していることに喜びを示しました。

一方で2018年の香港では、香港、広東省珠海市、マカオを結ぶ世界最長級の海上大橋である「港珠澳大橋」の完成が見込まれる他、「一带一路」経済圏構想の推進、2017年11月に調印された香港政府と東南アジア諸国連合(ASEAN)との自由貿易協定(FTA)および投資協定の発効に向けた準備など、経済・貿易環境の整備がさらに進む見込みとなっています。朱日本首席代表は、こうした動きを前提として、「香港と日本の貿易はさらに広く、深くなると信じます。香港が日本企業にとって中国本土およびASEANをはじめとした海外市場を開拓する上で理想的なゲートウエーであり続けられるよう尽力



左から香港政府観光局 堀和典日本局長、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部 翁佩雯(シェーリー・ヨン)首席代表、中華人民共和國駐日本国大使館 程永華大使、香港貿易發展局 朱耀昌(サイラス・チュー)日本首席代表、香港経済貿易代表部投資推進室(インベスト香港)佐々木由紀雄室長

します」と語りました。

◆think GLOBAL, think HONG KONG 国際化へのパートナー：香港

香港では2017年7月、香港政府トップの行政長官に、女性として初めて林鄭月娥(キャリー・ラム)氏が就任しました。この新長官の就任後初となる日本公式訪問を記念して、香港貿易發展局は11月1日に東京で過去最大となる特別シンポジウム「think GLOBAL, think HONG KONG 国際化へのパートナー：香港」を開催します。日本での大規模なシンポジウムの開催は、2012年5月の東京・大阪以来、6年半ぶりとなります。香港と日本の政官財界を代表する方々による基調講演、参加者同士のネットワークキングを囲む昼食懇親会に続き、午後にはテーマ別の分科会を開催します。分科会では、金融・ファイナンス、国際商事仲裁、中国・ASEAN市場開拓、デザイン&クリエイティブといった各種サービス業について、日本企業に香港の活用を呼び掛ける他、高齢者サポート技術、スマートリビング(eコマース、eスポーツ、eゲームなど)、スマートシティー(環境配慮型都市、省エネ、自動運転など)などテクノロジーに関連した香港の取り組みを紹介する予定です。さらに、本シンポジウムに合わせて香港から訪問する100名規模のビジネスミッション団と、日本企業とのビジネスマッチングも同時に開催することが決まっています。

皆さまのご参加を心よりお待ちしておりますとともに、香港でのビジネスにご関心のある方々に一人でも多くお知らせいただけますよう、ご関係先への告知にご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

think
GLOBAL
think
HONG
KONG

国際化へのパートナー：香港

開催日：2018年11月1日(木)

時間：09:15~17:00

場所：ホテルニューオータニ東京

主催：香港貿易發展局

イベント：メインシンポジウム、昼食懇親会、テーマ別分科会、ビジネス相談・商談会ほか

本シンポジウムに関する最新情報は公式サイトにて。

<http://www.thinkglobalthinkhk.com/jp>



原田 光夫

日本香港協会全国連合会 会長就任のご挨拶

昨年12月2～3日、第15回香港フォーラム世界大会（主催：香港ビジネス協会世界連盟〔Federation of Hong Kong Business Association Worldwide〕／本部＝香港貿易発展局内）が開催されました。それに先立ち、前夜祭に当たる12月1日には、日本香港協会全国連合会の総会が開催され、全国11協会の代表者が一堂に会しました。総会の場において、戒田会長より任期満了となる2018年3月で以て退任のご意向が示され、次期会長就任のご提案があり、お引き受けすることとなりました。任期は2018年4月より2年間となります。

全国連合会の代表として「オールジャパン」の活動を少しでも拡大出来るよう努力させていただきたいと考えております。振り返ってみますと、日本香港協会は1988年に東京で発足し、その当初の会員メンバーには現関西、中京、九州の諸先輩の方々もおられました。その2年後には関西日本香港協会が誕生、更に翌年には中京日本香港協会が設立され、北九州日本香港協会をはじめ各地に協会が順次発足しました。そして一昨年の8月には11番目の高知日本香港協会が立ち上がり、今日に至っております。日本香港協会にとりましては、今年が1988年から数えて30周年、記念すべき節目の年となります。2002年6月17日、東京の日本香港協会は東京都知事の認証を得て、特定非営利活動法人（NPO法人）日本香港協会として装いも新たに再出発、香港経済貿易代表部、香港貿易発展局、香港政府観光局の協力を得て、活動を充実化させています。

振り返れば、小職は1994年に日本香港協会に個人会員として入会、翌々年の1996年香港株式市場の上場企業である「王氏港建国際（集団）有限公司」の日本法人（WKK Japan Co., Ltd.）設立に当たり、代表取締役社長として法人会員登録をさせていただきました。入会以来すでに24年の歳月が経過しております。今日に至るまで、10年間に亘ってNPO法人日本香港協会の理事を務めさせていただきました。2014年4月からは理事長の任に当たらせていただいております。

日本香港協会全国連合会の会長職は、初代東京の財前宏氏、第二代沖縄の国場幸一氏、第三代関西の木全千裕氏、第四代同戒田真幸氏に引き継がれ、今般小職が第五代目会長を拜命することに相成りました。

前述致しました通り、全国連合会は「オールジャパン」の取りまとめ役として、香港並びに香港を窓口とした日本の農林水産物、食品、伝統工芸品の輸出振興のサポートをして参りたいと考えております。直近の1～2年間には、東京のNPO法人は現在

香港に居住し経済活動をされておられる個人や法人を「会員」にすべくリクルート活動を継続しており、現在のところ個人会員15名、法人会員2社を組織出来るようになってきております。近い将来この香港現地会員の皆様をNPO法人の「香港支部」と位置付け、全国の日本香港協会の経済活動の受け皿としてアシストをして貰えるような体制を整えて参りたいと考えております。日本＝香港間の互惠互酬の実現が可能となるような活動を模索する中、在香港日本国総領事館、JETRO、JNTOなど在香港の日本関係団体とも提携を強化して参ります。

全国各地の日本香港協会それぞれの活動を取りまとめ、より効率の良い連合会としてのサポート事業を心がけたいと考えております。昨年11月27日、香港はASEANとの間で自由貿易・投資協定に調印致しました。香港投資推進局（インベスト香港）と香港政府統計局による2017年10月発表の香港に拠点を有する海外企業に関する年次調査では、全8,225社中1,378社を占める日本企業が2年連続第1位の座に輝いております。これらの企業は、香港を拠点にして、成長著しい中国本土やASEAN諸国に対する事業拡大を目指しているものと考えられます。

最後になりますが、小職の任期中には、日本から香港ビジネス協会世界連盟の役員就任つまり Executive Committee Member に加え Office Holder の選出を実現したいと考えております。そのためには、協会の法人会員・個人会員数を増やし、且つ海外各地の協会の代表者と直接議論ができるような優秀な人材を集めなくてはならないと考えております。ここに全国各地の協会の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げる次第です。





日本香港協会 副理事長 藤澤 慶彦

日本香港協会（東京）第17回総会開催

平成30年3月17日（土）15:00～15:30、東海大学校友会館（千代田区霞が関）において定時総会が開催された。出席者の定足数が充足されて、滞りなく議事進行した。主な議案は次の通り。

平成29年度事業報告と決算報告、平成30年度及び平成31年度事業計画（案）と活動予算（案）、定款の一部改訂、役員を選任（案）

上記のうち、平成30年度の事業計画として発表されたのは、先ず文化活動としての広東語教室の開催、パウヒニア会として年5回のバーベキュー大会、火鍋の会や中国茶講習会、横浜ドラゴンボートレース（6月）、七夕茶話会（7月）、アジアユースオーケストラ（8月）、日港市民交流・クリスマスパーティ（12月）である。まさに日港交流の中核をなす事業ばかりと言える。

次に、ビジネス交流活動として5月と11月に「香港ビジネス懇話会」で著名な講師を招いての講演会がある。

毎回講演後に活発な質疑応答があり、講演後の懇親会でさらに親睦を深めることになっている。さらに3年ぶりに「華人経営研究」(Chinese Management & Marketing School) を再開することが紹介された。期間は4月～9月の半年間で週1回、二松學舎大学に当会との共催を引き受けて頂き、主に講義会場の提供と諸設備の使用でご協力願うことになっている。同時に同大学の学生、特に中国人留学生の出席が期待されている。最後に広報活動として5月、9月に機関紙「飛龍」を発刊して日本の全国の会員の皆さまに広くニュースを提供することが発表された。

総会終了後に総会と同じ会場で懇親会が開催されて、総会に出席されなかった会員も多数参加して極めて和やかなうちに閉会した。



原田理事長挨拶

日本香港教会 文化交流委員長 太田 良子

第25回横濱ドラゴンボートレース2018とNPO法人日本香港協会ドラゴンボートチーム飛龍結成のお知らせ

横濱ドラゴンボートレースは、毎年横濱開港祭の前週の週末に2週にわたって横浜山下公園で開催され、今回で25回目を迎えました。NPO法人日本香港協会は、この大会の主催者である横浜ドラゴンボートレース協議会のメンバーでもあります。今年は6月3日（日）午後6時にNPO法人日本香港協会チームは参加いたします。現在漕ぎ手を募集中です。

ここ数年は会員の皆様とビジターの皆様にご参加いただき、当日集合してエア練習をして乗船しておりますが、初めてでも楽しく漕ぐことができると大変ご好評をいただいております。今年は2艇のエントリーとし、1艇は経験者を中心とした「飛龍」チーム、もう1艇は初心者を中心とした「飲茶」チームとします。最近数年の参加者は日本人だけでなく、香港人、台湾人、中国大陸

出身の中国人、韓国人、欧米人とまるで香港にいるかのように多種多様の方々です。このようなメンバーが集えるのは、香港の国際性の象徴と感じております。今年はすでに香港人学生十数名の方からお問い合わせをいただいております。

もちろん大会の後には打ち上げもあり、香港家庭料理のお店で楽しく飲み、食べながらおしゃべりをするのがたまたま楽しく楽しいです。協会の活動というどちらかと言えばインドアのイメージが強いのですが、ドラゴンボートとBBQは数少ないアウトドアイベントとなっています。漕ぎ手以外にも応援団として参加してくださる方も募集中です。この機会にドラゴンボートレースに参加してみませんか？

また、この大会を通じてドラゴンボートに魅了された会員の皆様からの強いご希望で、今年度から東京都ドラゴンボート協会に加盟し、年数回の練習会を開催することにいたしました。チーム名はNPO法人日本香港協会チーム飛龍です。こちらのチームも現在参加者を募集しております。香港の特色あるドラゴンボートにふれながら、仲間と語り合う時間を作っていきたいと思っております。

法人・団体会員の方々もぜひドラゴンボートにご参加ください。特に、お忙しく福利厚生イベントまで手が回りかねる団体の皆様、ぜひご活用ください。皆様のご参加をお待ちしております。

横濱ドラゴンボートレース2018漕ぎ手応募サイト

<https://www.jhks.tokyo/form/>



スタートを待つ2017飲茶チーム



関西日本香港協会 事務局

2018年総会とチャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティー

2月20日にヒルトン大阪で2018年度総会とチャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティーを開催しました。21名が参加した総会では、伊藤紀美子理事の副会長就任、鈴木和巳氏と木村マリア氏の理事就任、平成29年度の決算報告と事業報告、平成30年度の予算案と事業計画が満場一致で承認され、17名の役員で今年も充実した事業を実施することにしました。

チャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティーは130名が参加し、今年も盛会でした。戒田会長は開会挨拶で、国内外でケンカばかりしている世の中で日本と香港は大変友好的な関係にあるので、必ず良いことが起こるでしょうと話されました。引き続いて、香港貿易発展局日本首席代表サイラス・チュー氏の歓迎挨拶と香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部次席代表の李銘溢氏の来賓挨拶があり、中華人民共和国駐大阪総領事館の領事、孫淑強氏が乾杯の音頭をとられ会食に入りました。食事はヒルトン大阪の旧正月特別料理を楽しみ、関西の官界、財界のVIP招待客や会員の皆さんが積極的交流をされて親睦を深めました。

アトラクションは、大人気の若手落語家三代目桂春蝶師匠が「春蝶の初笑い」で30分間、面白い話の連発で会場を大いに沸かしてくれました。お楽しみのラッキードローは、理事企業や会員企業、来賓者から合計59個の景品提供があり、特別賞のキャセイパシフィック航空提供の香港行きペア往復航空券の抽選では場内が大いに盛り上がり、昨年香港フォーラムに参加し、又、今回特別賞が当たった商創(株)の二口真琴社長が感激の挨拶をしました。ラッキードローの抽選が始まる前には、今年のパーティーで特別賞が当たって香港旅行をされた当協会の寺田雄一理事夫妻が香港旅行の御礼報告をされてラッキードローを盛り上げてくれました。

最後に当協会の副会長田中義次氏が協会を盛り上げる熱い思いを込めた閉会の挨拶をされて終了しました。

香港春節セミナー2018

「一大消費市場・香港の魅力、香港からアジアへ」を



ラッキードロー特別賞に大喜びの二口氏

テーマにした春節セミナーを2月20日にヒルトン大阪で開催しました。当協会と香港貿易発展局

が主催し、共催者の大阪商工会議所のほか関西経済連合会などの多数の経済団体に後援していただいた結果、121名の参加者を得て盛大で有意義なセミナーを開催することができ、参加者から多くの感謝の言葉が寄せられました。戒田会長は開会挨拶の中で、人口が増え続け来港者の多い香港で特に外食産業で成功している日本企業の実例を紹介し、アジアの人達が欲しいものが何でもある日本はもっと海外に目を向ける必要があることを強調され、香港貿易発展局のビジネス・マッチング業務と日本香港協会の活動を紹介されました。

講演1:「民以何食为天—香港への食へのこだわり」 香港貿易発展局日本首席代表 サイラス・チュー氏

チュー氏は、最初に香港と日本との発展する経済関係と人的交流や香港貿易発展局の活動、「さらに高みに向かう香港」“The Best Yet to Come”について解説されました。続いて、農林水産物、食品に関し、バラエティーにとんだ輸入食品、急拡大する輸入食品取扱高、健康志向と品質へのこだわりが「食在香港」と言われる理由になっていると説明、アジアと香港の外食市場について統計データを紹介しながら詳しく説明されました。

講演2:「日本のサラダ・惣菜文化を香港へ、そして世界へ！」株式会社ロック・フィールド 代表取締役副社長 古塚孝志氏

神戸に本社があるロック・フィールド社は2012年上海の百貨店内に2店舗を開店、2014年に香港に第1号店を開店し、現在ではサラダやお惣菜を販売する4店舗を香港の中心街で営業しておられます。古塚氏は講演の中で、各々特色のある異なった店舗でのマーケット戦略、作業従業員の教育、食の安心、安全、鮮度の衛生管理、客に理念と価値観を共有してもらえぬ為の盛り付けや接客サービスなど成功体験を親切丁寧な解説されました。価値観や生活習慣の違う外国で新規事業を行う際に共通する大事な問題点を示唆していただいた講義に対し、感謝の言葉が多く寄せられた有意義なセミナーになりました。



満席の春節セミナー



中京日本香港協会 事務局長 佐藤 亮一

新年恒例行事及び会員親睦会歴史探訪(Ⅱ)

◆総会及び親睦会開催

2018年2月26日(月)名古屋商工会議所内名商グリルにて、恭賀新喜!! 平成30年初頭、恒例の総会及び親睦会が開催された。総会においては平成29年度事業報告・会計報告並びに監査報告に続き、平成30年度事業計画・予算各案件が理事全員出席の元、承認された。

午後6時より商工会議所ホールにて会員含め82名参加、ゲストに香港貿易発展局日本首席代表サイラス・チュー氏挨拶、来賓に中華人民共和国駐名古屋総領事鄧偉氏挨拶の後、愛知県産業労働部長吉澤隆氏の乾杯で賑やかに開幕となった。アトラクション、ライオンダンスと続き大抽選会までの2時間名刺交換会も兼ね親睦会として成功裡に終了することができた。

◆秋季経済セミナー

また、平成29年11月10日には、秋季経済セミナーが名古屋商工会議所ホールにて開催され、第1部は「一带一路の全貌と役割を担う香港」として拓殖大学政経学部の朱炎教授に講演を頂いた。第2部として「一带一路のビジネスチャンスと香港の活用法」と称し香港貿易発展局伊東正裕氏の講演。71名の会員及び関係者に今後の香港の将来性について語り、両氏の卓越した話術とデータについて参加者も話題のテーマとして興味があつてか熱心にメモを取る光景が多かつた。

◆会員懇親会

一方、会員の懇親会として「中京地区歴史探訪～松尾芭蕉と七里の渡し」を実施。松尾芭蕉(1644～1694)は旅の初期に那古野熱田に度々訪れており、神宮側の計らいで熱田～桑名の舟旅経験をしている。そこは後世になりあゆち潟と呼ばれ、後の廃藩置県により那古野県から愛知県の語源となった。また、本人も熱田三歌仙として数多くの句を残している。有名句として「この海に草鞋捨てん笠しぐれ」を記しておきたい。名古屋が蕉風発祥の地と呼ばれる由縁である。私見だが、貿易経路として港湾出入り深淺理由でマカオ→香港、三重桑名→熱田湾と物資の荷揚げという共通点が歴史上見られたと感慨深



「七里の渡し」ツアー参加者



春節パーティー

い。かくのごとき、芭蕉の足跡を辿ってウォーキング兼ね年2回ほど歴史を実体験しており今回愛知、岐阜に続き三重桑名「七里の渡し」ツアーを企画、32名の参加者と共に東海地区に於ける個人では中々行かない地域を知ることができた。協会として内のビジネスセミナー、外の歴史セミナーと内外の近隣国の知識及び健康を兼ねたウォーキングなど、会員には特典として東海3県の歴史的宝庫を紹介してゆきたいと思う。

日本香港協会全国連合会

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階
香港貿易発展局 東京事務所内
電話 (03) 5210-5901 FAX (03) 5210-5860

NPO法人日本香港協会(東京) 電話 (03) 5210-5870
〒102-0083 千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階
香港貿易発展局内

関西日本香港協会 電話 (06) 4705-7030
〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング10階
香港貿易発展局内

中京日本香港協会 電話 (050) 3620-2517
〒460-0003 名古屋市中区錦2-11-27 TH錦ビル8階 株式会社喜富内

九州日本香港協会 電話 (092) 451-8610
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 会議所ビル1階
地域企業連合会 九州連携機構内

山形日本香港協会 電話 (023) 665-1310
〒990-2301 山形市蔵王温泉丈二田752-2
ユニテ蔵王ジョーニダ・リゾート内

北海道日本香港協会 電話 (011) 261-4288
〒060-8661 札幌市中央区大通西3-7 北洋銀行ソリューション部内

宮城日本香港協会 電話 (022) 226-7025
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-5 第三志ら梅ビル2階西
(株)Sola.com 内

沖縄日本香港協会 電話 (098) 8686-3758
〒900-0033 那覇市久米2-2-10 那覇商工会議所内

広島日本香港協会 電話 (082) 248-1400
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ3階
(公財) ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター内

新潟日本香港協会 電話 (025) 365-0001
〒951-8052 新潟市中央区下大川前通四ノ町2186番地 愛宕商事株式会社内

高知日本香港協会 電話 (088) 856-9112
〒780-0822 高知市はりまや町1-7-7 川村ビル4階
株式会社ティーエルホールディングス内

URL <http://www.jhks.gr.jp>



福岡県香港事務所 所長 藤木 重尚

香港と福岡 ～これからの可能性～

1. 香港駐在の3年間を振り返って

昨年、香港で開催された返還20周年記念式典では、中国の習近平国家主席が出席され、中国政府の影響力が、政治的、経済的にますます強まっている印象を与えた。一方で、日本にとって香港は、滞在1日あたりの消費金額*1が多い訪日インバウンド市場として重要性が高まるとともに、最大の農林水産物輸出地域*2としても密接な関係が続いている。

訪日インバウンドに関しては、本県を訪問する観光客数は好調を保っており、この傾向は続くと思われる(図1)。好調の理由としては、航空路線の充実や円安などの要因が大きいが、当事務所においても独自に継続的な情報発信を行ってきた。筆者も駐在期間中、航空会社への働きかけによる直行便の増加のほか、ウェブやリアルでの情報発信などを通じて、観光客の増加に貢献してきた。また、福岡の魅力の一つである食に関しても、あまおうや八女茶を始めとした県産品のブランド力強化を行ってきた。

こうした取組みは、サービスや製品を提供して下さる本県の企業や個人の皆様のみならず、香港で福岡のために惜しみない支援をくださる福岡県人会の皆様、活動をサポートして下さる福岡ファンの香港人の皆様など、たくさんの関係者のお力添えのおかげである。こうした関係者の皆様の協力は、ビジネスや交流における福岡の知名度向上にとって、また、これから進出して来る企業や個人への支援において、大変心強い存在となってくれるため、当事務所ではこれらのネットワークを今後も大切にしていきたいと思う。

*1…1人1泊当たり支出額 香港：25,433円、シンガポール：20,401円、中国：19,618円、全地域・国籍：15,590円(出典：訪日外国人消費動向調査2016年をもとに日本政府観光局が試算)

*2…1位：香港(1,877億円)、2位：米国(1,116億円)(出典：農林水産省発表による平成29年速報値)

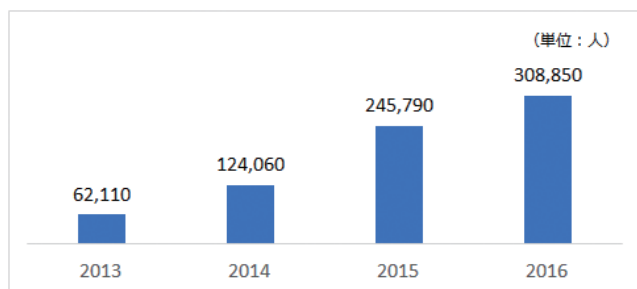


図1 福岡県内の香港人宿泊者数推移

2. 香港と福岡～深まる関係性～

観光客数や農産物輸出額の増加といった経済的な指標から、香港と福岡の関係は極めて良好であると言える。こうした関係をさらに深化させるため、当事務所では、将来

の架け橋人材となる香港の若者に、より福岡を知ってもらう取組みを行っている。具体例として、大学生に対する福岡紹介講座や、福岡における日本語研修のサポート、ワーキングホリデーの掘り起こし、小中学生や幼稚園児とその保護者も参加する修学旅行の誘致、ミス香港をはじめ著名人による福岡でのテレビ撮影などを通じて、福岡に対する関心の惹起と、実際の交流の発展に取り組んだ。

とんこつラーメンから始まった福岡への関心も、食から観光、観光から交流へと変化してきた。香港人は日本への関心が高く、親日的であると言われているが、その評価に安住することなく、最終的には人と人との切ることができないつながりに発展させ、さらなる交流やビジネスの基盤を固めていくべきであろう。

3. 香港と福岡～これからの可能性～

香港の重要性については、都市としての香港そのものだけでなく、今後は後背地に広がる大都市圏の拠点としても注視してゆく必要がある。

当事務所では、珠江デルタ各地域を結ぶ橋や高速鉄道の完成(平成28年12月「港珠澳大橋開通に伴う福岡県経済活性化の可能性」)、ハイテク産業において世界の先頭を走る深圳の今後(平成29年9月「イノベーション都市・深圳の可能性」)などについてレポートしてきた。

さらに、平成29年7月に中国政府(中国国家発展改革委員会)および広東省、香港、マカオ両特別行政区政府が締結した、3地域の経済協力を強化する「粵港澳大湾区」の開発促進に向けた協定では、市場統合の強化や世界のテクノロジー・イノベーションハブ構築を重点的に行っていくとされている。人口7,000万人を超えるこの「大湾区」エリアには、金融、製造業、IT産業等で世界をリードする都市が集積している。まずは、ビジネスの自由度や、行政・司法の透明性が非常に高く、かつ最も福岡の知名度が浸透している香港を拠点に展開していくことが重要となってくるであろう。

さらに進出分野についても、本県が得意とする食品、飲食業や観光客誘致だけでなく、この「大湾区」エリアの消費力、成長力、先端技術力などを取り込むことができる企業の進出を支援していくべきである。こうした大規模な国家プロジェクトにおいては、中国国内企業やグローバル企業が牽引すると考えられるかもしれないが、プロジェクトの進展によってインフラや生活水準が上がれば、現在香港で築き上げている福岡の知名度を生かしたビジネスを横展開できるのではないだろうか。

筆者は赴任当初から、発展を続ける香港の熱気とエネルギーは、訪れた者に成長への活力を与えてくれると感じてきたし、その思いは今も変わらない。福岡への関心が高まっているこの香港に、今後、ぜひ福岡からも飛び込んでくる企業や若者が増えることを期待し、駐在生活最後のレポートとしたい。



山形日本香港協会 事務局

平成30年度理事会・総会の開催

平成30年2月17日山形グランドホテルにおきまして、第1回目の総会並びに理事会を開催いたしました。初めての総会ということで、大沼会長の挨拶に始まり、組織機関・会則・役員承認及び29年度事業報告・30年度事業計画と進み、29年度会計報告・30年度予算案と議事が進行し、新規会員の募集について及び事務局からの説明などあり、無事、理事会・総会を終了することができました。

29年度は再発起準備からはじまり、大小9種の事業イベントをこなしており、非常に忙しい組織運営となりました。

◆春節セミナー講演会の開催



理事会・総会での大沼会長の挨拶

総会終了後に同ホテル会議室会場をセミナー会場に変えて、春節セミナー講演会ということで、山形県酒造組合特別顧問の小関敏彦氏を迎え、「酒造組合のGI（地理的表示保護制度）取得と海外戦略」というテーマでの基調講演を行いました。地元マスコミでもGI取得のニュースが毎日のように取り上げられており、100名を超える聴衆が興味深く聞き入っていたという印象でした。

第2部は、ジェットロ香港所長の伊藤亮一氏を迎えての講演で、テーマは「香港向け食品輸出の魅力と留意点」でした。農業県の山形が、食品を輸出産品として意識し始めたタイミングでの講演で、非常にタイムリーな話題でもあり、質問や問い合わせが引っぱり無しのような感



春節セミナー講演会



春節パーティーでのサイラス・チュー日本首席代表の挨拶

じでした。また、山形県からの香港FOOD-EXPOの参加が増えてくることも期待できるプレゼンにさせていただいたことは、今後に繋がると思われました。

このような企画ができたことは、当協会にとっても意義深いことと感じております。最後に、ジェットロ山形の神野達雄所長より閉会の挨拶を頂いて好評のうちに無事終了いたしました。お二人の講師には、特にお礼を申し上げます。

◆春節パーティーの開催

大変好評であったセミナー講演会終了後に、講演会場からパーティー会場へと趣も変えまして、山形日本香港協会らしく、楽しく、和らいだ雰囲気の中で行われました。大沼会長の開会の挨拶に始まり、香港貿易発展局日本首席代表兼日本香港協会全国連合会事務局長サイラス・チュー氏より歓迎の挨拶があり、連合会事務局長としての責任と日本・香港のより一層の協力関係を保持していくためのいろいろな試みを発表していただきました。

山形日本香港協会の仲野益美副会長（山形県酒造組合会長）より乾杯の音頭でパーティーが開始されました。今回は、酒造組合よりIWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）でNO.1になった日本酒をはじめ、県内有名酒蔵より協賛いただいた最高品質の日本酒の試飲コーナーを設けての祝宴となり、65名の参加者があり、大いに盛り上がりました。

最後に、山形日本香港協会の平井康博副会長（株ヤマコー代表取締役社長）の中締めの挨拶をいただき、無事終了することができました。



春節パーティーでの酒造組合試飲コーナー（GI取得お披露目）



北海道日本香港協会



横内会長の開会挨拶

「香港ビジネスセミナー」、「香港のつどい2018」を開催

北海道日本香港協会は、2月5日（月）に札幌グランドホテルにて「香港ビジネスセミナー」、「香港のつどい2018」を開催しました。香港は道産品の輸出先として道内企業の関心は高く、当協会員企業のみならず、香港ビジネスに意欲的な食品関連企業・団体からも多くの参加者が集まりました。

◆香港ビジネスセミナー

セミナーでは、はじめに香港の食品輸入会社であるGOGO FOODS CO., LTD. 取締役総経理の石井裕之様より、「香港の食品業界」をテーマに、香港の食品流通やトレンドや、航空輸送と海上輸送の比較等、道産品の香港販売に向けた可能性についてご講演いただきました。続いて、日本貿易振興機構（JETRO）香港事務所長の伊藤亮一様から、香港における最先端のビジネス情報を元に、日本企業の進出動向やビジネスチャンス等について幅広くご講演いただきました。

◆香港のつどい2018

セミナー後には、懇親会「香港のつどい」を開催しました。主催者を代表して開会挨拶を当協会の横内龍三会長、香港貿易発展局のサイラス・チュー日本首席代表に、来賓のご挨拶を北海道庁の辻泰弘副知事、香港特別行政



GOGO FOODS CO., LTD. 石井取締役ご講演

区政府駐東京経済貿易代表部のウィニー・カン代表に、乾杯のご発声を中華人民共和国駐札幌総領事館の孫振勇総領事より頂戴しました。皆様の、北海道と香港双方の経済交流、友好親善関係を繋ぐお言葉に、会場は大きな拍手で溢れました。

毎年人気のラッキードローを今年も開催、多くの企業様より景品をご提供いただきました。特賞としてキャセイパシフィック航空会社様から、「札幌－香港往復ペア航空券」をご提供いただき、抽選時は大変な盛り上がりとなりました。また、会場内には日本清酒様、北海道ワイン様の特設ブースなども設け、さまざまな北海道産の日本酒・ワインを楽しんでいただきました。その後も、交流の輪と笑顔が溢れ、外の寒さも忘れさせる暖かな雰囲気になりました。

最後に、当協会の安齋勲副会長より締めの挨拶を頂戴し、盛会のうちにお開きとなりました。

なお、今年1月、北海道庁の高橋はるみ知事が香港を訪問し、北海道を紹介するセミナーを開催、香港貿易発展局と経済交流の覚書を締結しました。今後、両地の更なる経済交流拡大が期待されます。北海道日本香港協会は、引続きこれまで以上に北海道と香港の文化・経済交流の発展に向けて、努力してまいります。



日本貿易振興機構（JETRO）伊藤香港事務所長ご講演



豪華景品が当たるラッキードロー抽選会



宮城日本香港協会 事務局



さあ乾杯です

2018 春節セミナー&パーティーを開催

2月15日(木)17:30から2018春節セミナー&パーティーを「パレスへいあん」に於いて開催しました。寒い中、約70名もの参加者を得て、宮城県副知事の河端章好氏、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部代表ウィニー・カン氏、そして香港貿易発展局日本首席代表のサイラス・チュー氏を来賓に迎え、盛大に開催することができました。

セミナーでは、「香港経済の動向と日本企業について」と題して、ジェットロ東北地域センター長兼仙台情報センター所長の長谷部雅也氏から、約40分にわたって講演がありました。ドトール・日レスホールディングスが昨年2月中国外食大手「小南国(香港)」と組み、中国でドトールコーヒESHOPを展開した事例や、日清食品ホールディングスが香港子会社日清食品有限公司の香港証券取引所での上場を申請、上場を通じて戦略的パートナーシップの獲得、中国事業の買収及び拡大を目指す動きなど、元気な日本企業の姿を紹介されました。2017年の営業利益黒字企業の割合も72.0%と高い割合を示しているとのことでした。

第2部は春節パーティーです。会場には香港の数々の



セミナー会場風景

飾り付けが施される中、参加者も料理を楽しみながら、香港の気分を満喫しました。花を添えたのがフィリピン出身の歌手・ジュディス氏のジャズ&ポップス、甘い歌声についつい聞き入ってしまいました。

広東語教室で恒例の春節パーティーを開催

2月17日(土)午前11時から、広東語教室の荒川先生のお宅で、恒例の春節パーティーを開催しました。以前教室に参加していただいた橋本美佐登さん、石井洋さんが参加、そして東京の会社に勤めた小林幸一さんも東京からわざわざ駆けつけてくれたの参加となり、総勢6名の参加となりました。

いつもながらの荒川先生の美味しい手料理に、参加者一同「美味しいね」「そうだね」の連続で、香港の食を堪能することができました。また、参加者が持ち寄ったプレゼント交換もあって、とても盛り上がりましたよ。

最後に荒川先生にお茶を振る舞っていただき、アツという間に夕方の4時、別れを惜しみ再開を約して散会となりました。



春節パーティー、参加者の皆さん楽しそうです



沖縄日本香港協会



春節セミナー サイラス代表の講演



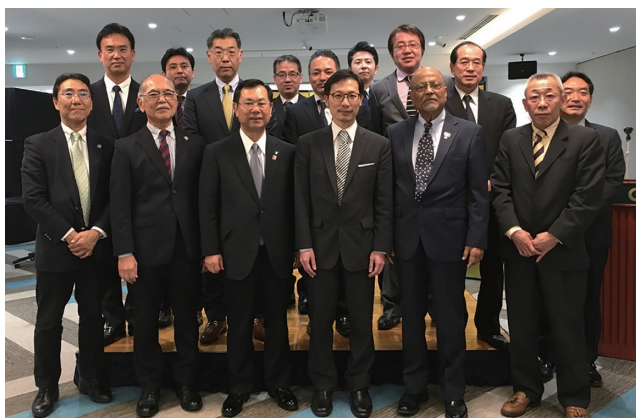
HKTDC クリステイーヌ・チャン副総裁表敬訪問

春節・香港ビジネスセミナー2018 IN 沖縄 開催

平成30年2月27日(火) 沖縄日本香港協会と香港貿易発展局の共催による春節・香港ビジネスセミナーが開催されました。

冒頭、初めて来県された香港貿易発展局日本首席代表のサイラス・チュー氏から「国際化へのパートナー 香港」と題し、ご挨拶及び香港の状況説明がありました。その後、香港貿易発展局大阪事務所の伊東正裕氏から「香港・世界のミーティングプレイス」と題して、香港コンベンション&エキシビションセンターを中核としたMICEビジネスを中心に、アジアのゲートウェイとしての香港の優位性について講演頂きました。

伊東氏は、香港におけるMICEの経済効果について、7万7,000人の雇用を創出、関連消費額は観光収入総額の1.75倍に当たる68億US\$にのぼると述べました。また、香港がMICE都市として発展した背景として、アジアのゲートウェイとしての機能や中国本土との近接性をあげ、宿泊客にとっての「安全性」「利便性」「多言語」といったビジネス環境整備に力を入れていることを紹介しました。香港国際空港は世界でもトップクラスの国際空港であり、香港・深圳・広州を結ぶ高速鉄道の敷設、香港・マカオ・珠海を繋ぐ大橋の建設などインフラの整備も進んでいるとのこと、沖縄が進めているMICE誘致強化策において、これら香港の取り組みは参考になる点が多々ありました。



春節パーティー

(株)ショーライ代表取締役の井坂礼三氏は「日本食材を香港に売り込む極意」と題し、長年の海外でのビジネス経験から香港での食ビジネスについて講演いただきました。香港は食に関する関心が強く、少ない取扱量でも継続して取引をしていくことが大切であると強調されました。日本の和牛は佐賀牛の知名度があるとし、継続してプロモーションし、知名度を上げていくことが大事であるとお話でした。

その後、春節パーティーを開催し、沖縄日本香港協会の会員の交流・親睦を深めました。

香港経済視察

平成30年3月4日(日)から3月7日(水)の3泊4日の日程で、沖縄日本香港協会及び那覇商工会議所の役員・会員で、香港経済視察を行いました。

香港到着後、「香港インターナショナル・ジュエリー・ショー」を見学、その後香港貿易発展局クリステイーヌ・チャン副総裁を表敬訪問し、香港貿易発展局の概要と香港のMICEビジネスについて説明を受けました。また「一帯一路」における香港の役割の重要性についても説明があり、日本の企業においてもビジネスチャンスが広がると強調されました。

香港貿易発展局大阪事務所のご配慮により、世界最大規模の貨物取扱量を誇る香港航空貨物ターミナル社(HACTL社)を見学することができ、貨物ターミナルの規模とその取扱量の大きさに圧倒されました。その後、香港空港管理局フレッド・ラムCEOを表敬訪問、香港国際空港の第3滑走路や複合施設であるスカイシティの計画について説明を受けました。

香港の国際ビジネス拠点としての優位性とそれを支えるインフラの重要性を理解する有意義な経済視察となりました。



HACTL社 視察訪問



広島日本香港協会 事務局 二神朋子

香港・台湾等インバウンド・ビジネスセミナー開催

近年、香港を始めアジア各国から広島県への来日観光客が急増していることから、広島日本香港協会としても、広島のいろいろな企業・団体の方に香港のことを知っていただき、新しい交流が広がることを期待し、また観光客をいかにビジネスに効果的に結びつけるかを探るため、2018年2月9日に（公財）ひろしま産業振興機構と共催し、「香港・台湾等インバウンド・ビジネスセミナー」を開催しました。

まず第一部では、日本政府観光局（JNTO）香港事務所 上席次長の清水泰正氏から、「香港・中国等からの訪日旅行市場へのアプローチ」と題して講演をいただきました。

清水氏からは、実際に、香港で日本への観光誘致を進めておられる実績と豊富なデータ、分析からお話をいただきました。はじめに、近年の来日観光客増加の要因は、香港の親日的な素地、LCCを中心とした座席供給量増加、日本は安心、安全で「間違いの無い」旅行先との認識、昇り調子の香港経済、円安といった要因に加え、香港はストレス社会のため人々が「ゆるたび」を求め、海外旅行がライフスタイルの一環になっていること等をお話いただきました。また、食事や言葉、時期などからみた受け入れのポイント、今後のターゲットなども教えていただきました。

そして更なる誘致に向けてのヒントとして、「新しい観光素材の発掘と発信」を挙げられ、その地域・時期でしか「体験」できない素材の発掘や、香港では旅行雑誌などの冊子を入口にしてネットへ誘導することが効果的とのことでした。また、香港の人の来日目的の一番は「食」であること、香港は日本からの食品・農林水産物の最大の輸出先であることから、その地域にしかない「食」で差別化・動機づけすることも効果的とのことでした。

第二部では、「広島のインバウンド・ビジネス」と題して、株式会社グローバル・デイリー次長の張蕙宇氏からお話をいただきました。

張氏は台湾出身で、台湾で企業勤務の後来日し、同社



サイラス・チュー代表、深山会長、神津副会長、伊東所長（春節意見交換会）

にて訪日・在日外国人向けのマーケティングや日本のコンテンツPR企画等に從事しておられるとのことでした。張氏からは、特に、台湾・香港・中国各国の若い方やネットから、最新の広島のイメージ、旅行

の仕方、人気スポット、効果的なPR方法をお示しいただきました。そこから「広島インバウンド観光客誘致に対する、明日から始められるインバウンド施策」として、アクセスと絡んだ観光ルートづくりのため、インフラとコラ



香港・台湾等インバウンド・ビジネスセミナー 清水泰正氏

ボしたゴールデンルートを構築し、香港で有効なPR手段で拡散し、投稿してもらえらるイベントを行うこと等をご提案いただきました。

セミナーには、日本香港協会会員の食品等製造業に加え、観光、運輸・交通、ホテル、小売関係者等さまざまな分野から約70名のご参加をいただきました。参加者からは、詳細な情報や丁寧な分析で、現地の方のニーズや具体的な広報媒体がわかった、集客への可能性を感じた等のご意見をいただき、大変好評でした。協会としても地域の魅力を発信し、香港をはじめ台湾、中国の方等に訪問していただき、さらにさまざまな交流を進める大切さを感じました。お越しいただいた講師の方、また参加者の方、ありがとうございました。

香港フォーラム・春節の会

そのほか、29年度後半の事業としては、本協会の深山英樹会長（広島商工会議所会頭）が、12月の香港フォーラムへ数年ぶりに参加し、他の協会の方々や現地広島企業の方との交流も行い、最近の香港の活力を感じることができました。

また3月1日には、サイラス・チュー香港貿易発展局日本首席代表、伊東大阪所長にもお越しいただき、春節意見交換会を開催しました。

広島日本香港協会は、今後も香港と広島の交流とビジネス発展のため貢献していきたくと考えています。



春節意見交換会にて



新潟日本香港協会 事務局

2018年春節セミナー&パーティーを開催

新潟日本香港協会では、香港貿易発展局との共催で2月22日（木）に、今年で5回目の開催となる「2018年春節セミナー&パーティー」をホテルイタリア軒に於いて開催しました。



セミナー会場の様子

当日は吉田会長の挨拶によりスタートし、セミナー冒頭では香港貿易発展局日本首席代表兼日本香港協会全国連合会事務局長のサイラス・チュー氏より、今年の11月1日に東京で開催される香港貿易発展局主催の特別シンポジウム“think GLOBAL, think HONG KONG (国際化へのパートナー：香港)”について説明がなされました。この一大イベントでは、香港や世界各地のビジネスコミュニティが集い、日々変化するグローバル市場の最新動向やトレンドを共有することができ、新たなビジネスチャンスを求めて来日する香港企業との個別商談会も実施できるのでアジア市場への参入拡大を目指す企業にとって絶好の機会になるというものでした。今後、プログラムの詳細が決まりましたら改めてご案内させていただきます。

続いての講演では、株式会社iNTO代表取締役/PRプロデューサーの小松崎友子氏より「香港における日本酒、特産品、コンテンツ産業の現状とプロモーション施策について」と題しご講演いただきました。香港でいかにしてPRを制するか、過去の具体的な事例を踏まえながらプロモーションの手法や香港マーケットではfacebookの活用が非常に重要であることなども分かりやすくご説明いただきました。

セミナー終了後は、会場を隣に移してパーティーを開催しました。パーティーにはセミナー登壇者をはじめ多くの方にお集まりいただきました。開会挨拶では主催者



パーティー会場の様子



講師の小松崎さんを囲んでの1枚

として、吉田会長とサイラス・チュー氏より一言ずつご挨拶をいただき、来賓挨拶では香港経済貿易代表部次席代表のカー・リ氏から「今年是新潟の越後妻有で行われる大地の芸術祭に“香港HOUSE”という作品を展示する予定なので、今後も更に新潟と香港の関係強化のために最善を尽くしていきたい」と力強くお話しいただきました。当協会では、この作品と里山アートを巡る大地の芸術祭ツアーを企画・実施する予定ですので、具体的な内容が決まりましたらご案内させていただきます。続いて、中華人民共和国駐新潟総領事館総領事の孫大剛氏による乾杯発声のもとスタートしました。歓談中は名刺交換をされたり、香港に関するお話をされたりと参加者同士で懇親を深め、春節に相応しく賑やかな雰囲気でした。

パーティーの後半では、豪華景品が当たるラッキードロー抽選会を行いました。景品には香港貿易発展局より提供していただいたカードホルダーセット等の他、県産ワインやトラベルグッズ、新入会員のレストラン広東様でのお食事券などがあり、会場は大いに盛り上がり、景品が当たった参加者の顔からは笑みがこぼれていました。最後は当協会の仙石副会長による閉会の挨拶でパーティーを締めくくりました。

なお、ご多忙な中、ご参加いただいた皆様と大変有益な情報をご提供いただいた講師の小松崎様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



大いに盛り上がった抽選会



高知日本香港協会

アウトスタンディング・メンバーシップ・アワード受賞

高知日本香港協会が、香港フォーラム2017において、アウトスタンディング・メンバーシップ・アワードを受賞いたしました！私たちがこの賞については正直あまり理解をしていなかったのですが、お話があったときにはびっくりぽん！状態だったのですが（笑）どんな賞かというところ？「1年間の会員数の増加に対して、一定数の基準を超えた入会者のあった協会に贈られる賞」ということであり、アジア地区のグランドプライズに入賞したとのことでした。香港フォーラム開催のおよそ3週間前に急にご連絡をいただき、何とも嬉しいサプライズの受賞となりました。2016年6月1日に発足したばかりの当協会だから受賞ができる可能性も高かったのだということもあるのだと思いますが、この受賞を誇りに、また今後も会員様の入会の促進に励んで活動を広げ、精進して参りたいと思います。



高知日本香港協会 副会長 鍵山武男が代表して授賞式に参加&記念撮影

春節イベント開催

新しい年を迎え、2月21日に高知日本香港協会が主催で大阪貿易発展局様のサポートをいただき2度目の春節のイベントを開催しました。今年も恒例となった3部構成で開催し、第1部は香港貿易発展局日本首席代表のサイラス・チュー氏に初めて高知にお越しいただき「高知との連携強化を目指して」というテーマでご登壇いただきました。現在、いかに香港人が日本を訪れ、日本のグルメを楽しみ、日本の文化や人のあたたかさに触れ、日本の製品や商品の輸入を増やしているかを熱く語っていただきました。高知は今、海外からの観光客の招致に力を入れております。大型客船が寄航できる港と

しては、高知新港は西日本では最大の規模なのです。そのため、今年の寄航数を超える客船の寄航が今年は予定されており、それに合わせて海外からの観光客の増加が予想されます。高知の魅力が高まっている時期に、サイラス・チュー代表の言葉は高知の企業に大きな期待と希望を持たせてもらえるものとなりました。

その後、今回のゲスト講師である株式会社富貴食研の代表取締役社長の岡田恒周様にご登壇いただき「海外販路を切り拓け！富貴食研の取り組み」というテーマで国内マーケットより海外マーケットを広げて売上を純増させておられる商品展開や自社取引などについてお話を賜りました。2009年より5年連続で香港でのフードエキスポにも出店した経験をもたれており、なぜ継続して出店することが大事なのか、日本との文化の違いなども踏まえてのお話は、海外進出を視野に入れた方々には大きな収穫となったようです。富貴食研様も予想外のところから海外展開が始まり、試行錯誤を重ねた物語が、起承転結のストーリーになっていて、イメージが膨らんだ参加者も多かったようです。

最後は香港貿易発展局の大阪事務所次長田中洋三様から、日本香港協会に入会することで開ける可能性の道筋をわかりやすく解説していただき、春節セミナーを終えました。

第2部では、香港への輸出ビジネスに長けたアドバイザーを招いて（日本貿易振興機構高知貿易情報センター貿易アドバイザーの渡部郁子様、香港貿易発展局東京事務所所長の伊東正裕様、株式会社富貴食研代表取締役社長の岡田恒周様、日本通運株式会社高知支店課長大捕弘士様、当協会副会長鍵山武男）、ビジネス相談会を開催いたしました。最後は高知新港から香港への輸出を増やしていくために、チームメンバーを増やして、高知からコンテナ定期便を作る！という具体的なビジョンも見えてきました。

高知日本香港協会は、まだまだ発足したばかりの若い協会で、間もなく2年目が終わります。1年目の“ホップ”で会員様との交流や地元知名度を高め、2年目の“ステップ”で会員様の増強を果たし受賞をしました。来年は“ジャンプ”の3年目がスタートします。3年目には前々号の飛龍86号にも掲載した毎年10月3日に約300名の企業様、個人様が参加をする“土佐の日”のイベントともタイアップをしていくことも決まっています。様々な高知のよさを知るメンバーを募り、日本の田舎と称される場所からでも香港へ、そして世界へと展開していきたいと存じます。



1 時間、3 時間、5 時間で 東京を散策する

限られた自由な時間内で、あなただったら、何をしますか？

StayInspired.jp では、東京に“出逢う”ことができる、他にはない洗練されたプランをご提案しています。

CONRAD
HOTELS & RESORTS*

NEVER JUST STAY. STAY INSPIRED.
コンラッドに滞在すること。その街に出逢うこと。

ASIA EUROPE AFRICA MIDDLE EAST AMERICAS
CONRADTOKYO.COM #STAYINSPIRED